

と云傳へり。は西清川村の西に一カ氏を思
を感して其村の思ひをなすに一祠を立て
其靈を祭るといふにつらに及ぶ志あり。人は
必お祀人となり禿舎を建て其思を報へ
つて事に出羽守成大学卿へ下されし書
状あり。その文曰

其元壠尊徳大分と倭出来仕せぬ至夜に
昔常素入中事い物更壠出来水早山海
ふ色い出その好め就大等とてふに石企
時分とてえし八樓とて（中略）然中大分

と倭移り出出来末世とて至宝末といそ
をを用ひ新田何万石出来て中分自今以
後八樓とて有存羽川に其先業徳中い
可中分は神領に判飛先自年久迄に諸持
業中分は則大補にお渡り出に彼に日疾
勅行てお勅し名て中分は就古川風をい
呂氏中一を中い高重とて中い入りし

三月十五日少將出羽守判

少将大学との

とあり。子孫後より酒井家へ承け出遊士とめ